



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和6年6月14日
教育委員会事務局
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

第 69 回 盛岡市先人記念館企画展

「墨で語る書家—山口剛介・新渡戸仙岳・太田孝太郎—」開催について

盛岡市先人記念館では、令和 6 年が書家山口剛介の没後 90 年にあたることから、書家という共通点を持ち盛岡で活躍した山口剛介、新渡戸仙岳、太田孝太郎について紹介します。3 人はいずれも盛岡出身であり主な活動拠点を岩手・盛岡に置いた先人です。この機会に是非ご覧ください。

記

- 【開催期間】 令和 6 年 6 月 22 日（土）～9 月 1 日（日）
- 【開催時間】 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- 【休館日】 毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）毎月最終火曜日
- 【場 所】 盛岡市先人記念館 2 階総合展示室企画展示コーナー
- 【入館料】 一般 300 円 高校生 200 円 小・中学生 100 円
盛岡市内に住所を有する 65 歳以上の方は入館料無料
- 【主 催】 盛岡市先人記念館（所管：盛岡市教育委員会）
公益財団法人盛岡市文化振興事業団



「山口剛介」

- 【イベント】 ①岩手県立盛岡第三高等学校書道部による書道パフォーマンス
「今を生きる私たち」
開催日：令和 6 年 6 月 22 日（土）午後 2 時～午後 2 時 30 分（雨天中止）
参加費は無料。見学希望者は当日直接会場（正面玄関付近）へお越しください。

- ②企画展関連講座
「太田孝太郎の中国金石資料収蔵とその蔵品著録—書家としての原点—」
講 師：劉海宇（リュウ カイウ）氏
（山東大学文化遺産研究院教授・岩手大学平泉文化研究センター特定教授）
開催日：令和 6 年 7 月 7 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時

- ③学芸員講座「3 人の書家」
講 師：河野 聡美（盛岡市先人記念館主任学芸員）
開催日：令和 6 年 8 月 24 日（土）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

※②③ともに 6 月 22 日（土）午前 9 時～電話＜659-3338＞にて受付。
定員 40 人、会場は当館地下ホール、参加費は無料。

- ④担当学芸員による展示解説
開催日：令和 6 年 6 月 30 日（日）午後 1 時 30 分～午後 2 時
令和 6 年 8 月 11 日（日・祝）午後 1 時 30 分～午後 2 時

画像は本展周知目的のみに使用してください。
画像データが必要の際は、お問い合わせください。
掲載にあたりクレジットとして所蔵先を明記してください。
掲載紙を一部、先人記念館保存用として寄贈してください。

【問い合わせ先】

盛岡市先人記念館

指定管理者：（公財）盛岡市文化振興事業団

担当：主任学芸員 河野（こうの）

TEL : 019-659-3338 FAX : 019-659-3387

墨で語る

書家

山口

剛介

Yamaguchi Gosuke

新渡戸

仙岳

Nitobe Sengaku

太田孝太郎

Ohta Kotaro

令和6年

6.22_土 - 9.1_日

盛岡市先人記念館

2階総合展示室企画展示コーナー

●利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、毎月最終火曜日

入館料 [個人] 一般 300円/高校生 200円/小・中学生 100円

[団体] 一般 240円/高校生 160円/小・中学生 80円

※団体料金は、30人以上の団体に適用します。

※盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は入館無料。

■主催/盛岡市先人記念館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

盛岡市先人記念館

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2-2 TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387



私たちは、郷土ゆかりの先人の書を様々な場所で目にすることができます。盛岡八幡宮の鳥居脇に建つ碑「県社八幡宮」と高松の池に建つ弔霊塔は書家の山口剛介、鉾山経管で財を成した瀬川安五郎の旧邸であり、現在も広く公開されている「南昌荘」扁額はその命名者でもある新渡戸仙岳、「岩手日報」題字は同社の取締役社長も務めた太田孝太郎のものです。額や碑の大きな文字とは対照的に、これらの書家の名は読むのに苦労するほど小さな文字で署名されていることも少なくありません。

山口剛介・新渡戸仙岳・太田孝太郎の3人は、いずれも盛岡出身であり主な活動の拠点を岩手・盛岡に置いた先人です。俳人、郷土史家、教師、銀行員、会社役員など様々な分野で活躍した彼らの共通点は「書家」であることです。

本展では、令和6年(2024)が山口剛介の没後90年にあたることから、書家という共通点を持ち盛岡で活躍した山口剛介、新渡戸仙岳、太田孝太郎について紹介します。



で語る書家

山口 剛介
Yamaguchi Gosuke
新渡戸 仙岳
Niino Sengaku
太田 孝太郎
Ohta Kotaro



やまぐち ごうすけ
山口 剛介 (1857~1934)

盛岡生まれ。漢詩や儒学に通じた山崎鯉山に師事。刀岡、口剛の名で書家として知られるほか、梧宇、五雨と号し俳人としても活動した。岩手県尋常中学校や岩手県師範学校にも一時在職していた経歴を持つ剛介は、新渡戸仙岳とともに近代の郷土における書家の双璧をなすと評され、寺社の扁額や記念碑の書を多数残している。



にと べ せんがく
新渡戸 仙岳 (1858~1949)

盛岡生まれ。明治時代を教員として過ごした仙岳は、気仙地方の赴任を経て盛岡高等小学校校長や盛岡高等女学校校長を歴任。その傍ら、籬雨、非仏、宏堂の号をもつ俳人・書家であっただけでなく、南部絵巻の研究をはじめ幅広い郷土の歴史に精通した仙岳の蔵書は「新渡戸文庫」として残されている。



おおた こうたろう
太田 孝太郎 (1881~1967)

盛岡生まれ。岩手日報社取締役社長、盛岡銀行頭取など。横浜正金銀行の天津支店勤務時に現地で中国古印を収集、金石文への理解を深める。孝太郎の知識と研究は、太平洋戦争終戦の直前に国の重要美術品に認定され難を逃れた中津川架橋の上ノ橋擬宝珠の保存に貢献した。『南部叢書』、『盛岡市史』など郷土史の編纂にも携わる。



山口剛介書
「游於藝」



新渡戸仙岳書
看板「土澤屋」



太田孝太郎書
「行義秉徳以従先正
樂天安命上企前人」



関連イベント

○企画展関連講座

「太田孝太郎の中国金石資料収蔵とその蔵品著録
—書家としての原点—」

■講師／劉 海宇氏(山东大学文化遺産研究院教授)
■日時／令和6年7月7日(日)午後1時30分~午後3時

○学芸員講座

「3人の書家」

■講師／河野聡美(盛岡市先人記念館主任学芸員)
■日時／令和6年8月24日(土)
午後1時30分~午後2時30分

○盛岡第三高等学校書道部の皆さんによる
書道パフォーマンス「今を生きる私たち」

■日時／令和6年6月22日(土)
午後2時~午後2時30分(予定)
■会場／盛岡市先人記念館正面玄関前
※屋外のため、雨天・強風時は中止
■申込／不要

申込 両講座とも令和6年6月22日(土)午前9時より盛岡市先人記念館にて電話受付。定員40人。

○展示資料の解説 ■日時／令和6年6月30日(日)、8月11日(日・祝)いずれも午後1時30分~午後2時 ■会場／盛岡市先人記念館2階企画展示コーナー

公益財団法人盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

■盛岡てがみ館

第71回企画展「作家たちの手紙」
6月19日(水)~10月7日(月)

■原敬記念館

第67回企画展「原敬と盛岡藩校・作人館」
6月22日(土)~9月8日(日)

■石川啄木記念館

※大規模改修及び
増築工事のため休館中

■交通アクセス [バス]岩手県交通「盛南ループ」県立美術館前下車 徒歩約5分 [タクシー]盛岡駅より約10分
[自動車]東北自動車道盛岡ICから車で約15分 盛岡南ICから車で約10分 [徒歩]盛岡駅西口(マリオス前)より約15分

盛岡市先人記念館

指定管理者:
公益財団法人盛岡市文化振興事業団

■主催／盛岡市先人記念館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2-2 TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387

